

図書館だより

7月号
令和8年度



夏の暑さが段々と厳しくなってきました。夏休みもうすぐです。長い夏休みは自由研究や課題にじっくり取り組んだり、新しいことに挑戦したりするのによい機会です。みなさんはどんな夏休みの計画を立てますか？今月は夏にちなんだ本を紹介します。

『ある晴れた夏の朝』

小手鞠るい/著 偕成社 913こ

広島・長崎への原子爆弾投下は果たして必要だったのか。その是非を、アメリカの8人の高校生が討論会でディベートをすることになります。メンバーは主人公である日系アメリカ人のメイをはじめ、中国系、ユダヤ系、アフリカ系などさまざまなルーツを持ちます。肯定派、否定派の意見を読み進めながら、これからを考えるきっかけになる作品です。

『今日から楽しい科学実験図鑑』

川村康文/著 SBクリエイティブ 407か

身近なものでできる、「見ておもしろい」「試してたのしい」実験が紹介されています。詳しい手順や「なぜそうなるのか」という解説が記載されており、自由研究にチャレンジしたい人に最適の一冊！「ふんわりかき氷」「凍らせるだけオブジェ」など、夏にぴったりの実験に挑戦してみては。

こちらもおすすめ

『素数ゼミの謎』

吉村仁/著 石森愛彦/絵
文藝春秋 486よ

『夏への扉』

ロバート・A・ハインライン/著
福島正実/訳
早川書房 933は

『カレーライスを一から作る』

前田亜紀/著
ポプラ社
610ま

世田谷の図書館

世田谷区内各地域には16の図書館があり、規模の小さい図書室なども合わせると24箇所で見ることができます。誰でも利用登録ができ、一度に15冊も借りることができます。近くの館にない本は別の館から取り寄せてくれたり、調べ学習の資料探しの相談にも乗ってくれたり心強い存在です。学校図書館が閉まっている日も多い夏休み、ぜひ利用してみてください。

参考：世田谷区立図書館ホームページ、<https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp> (参照 2026.5.23)



お知らせ

☆図書委員会 7月企画

☆イベント 〈7/9(木)～/16(木)〉

☆夏休み特別貸出

・1人10冊 〈7/9(木)～9/11(金)〉

～夏休みの奥沢中学校図書館の使い方～

- ・開館時間 8:30-16:30
- ・利用内容 読書、学習、本の貸出・返却
- ・服装 標準服または部活時の運動着
- ・飲食 原則禁止（ただし水筒は可能）

読書のとびら

7月号 世田谷区立奥沢中学校図書館



本屋大賞の本

本屋大賞とは、全国の書店員がいちばん売りたいと思った本を、書店員の投票だけで決定する賞のことです。メインの部門の他にも、翻訳小説部門、発掘部門があります。

2025年大賞受賞

『カフネ』

阿部暁子/著 講談社(913)

最愛の弟を亡くした主人公の薫子は、弟の元恋人であるせつなと出会い家事代行サービス「カフネ」の活動を手伝うことになります。

様々な家庭を訪問しているうちに、自分自身と向き合うことができるようになった薫子の選んだ生き方とは…。



2026年大賞受賞

『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ/著

日経 BP 日本経済新聞出版(913)

40代後半を迎えたレコード会社勤務の慶彦、集団になじめない女子学生の澄香、ある俳優を応援している絢子。3人の主人公たちを通して推し活のリアルが描写されています。3人の行きつく先に待っているのは…。



2024年大賞受賞

『成瀬は天下を取りに行く』

宮島未奈/著 新潮社(913)

何事にも動じない中学生・成瀬あかり。目標に向かって真っすぐに突き進む姿は潔くて応援したくなります。続編の『成瀬は信じた道を行く』『成瀬は都を駆け抜ける』では、大学生になった成瀬の成長した姿を知ることができます。



2023年大賞受賞

『汝、星のごとく』

風良ゆう/著 講談社(913)

瀬戸内海にある島で出会った高校生の暁海と權は、お互いの家庭環境を知って惹かれ合います。やがて權は漫画家になる夢をかなえるために上京しますが、違う人生を歩き出す2人に待っている場所は…。15年の軌跡を描いています。



2022年大賞受賞

『同志少女よ、敵を撃て』

逢坂冬馬/著 早川書房(913)



2021年大賞受賞

『52ヘルツのクジラたち』

町田そのこ/著 中央公論新社(913)



2020年大賞受賞

『流浪の月』

風良ゆう/著 東京創元社(913)



2019年大賞受賞

『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ/著 文藝春秋(913)

